

## 主催者挨拶

法務省人権擁護局長

萩原 秀紀

本日は、お忙しい中、多数の皆様にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

本日、性的指向と性同一性障害をテーマとする人権シンポジウムが、ここ東京都におきまして開催するという機会を得ましたことを、大変喜ばしく思っております。

さて、本年8月に、内閣府は、「人権擁護に関する世論調査」を実施し、性的指向や性同一性障害などに関し、どのような人権問題が起きていると思うかを調査しました。その結果、「差別的な言動をされる」という人権問題が起きていると答えた方の割合は、性的指向に関しては、全体の約4割、性同一性障害者に関しては、全体の約3割となりました。このことは、人権尊重の正しい理念が必ずしも十分に定着していない状況にあることを反映していると思います。

このような中、全国の法務局・地方法務局及び人権擁護委員を中心とする法務省の人権擁護機関では、啓発活動の中でも、特に強調して啓発すべき課題として、「性的指向を理由とする差別をなくそう」、「性同一性障害を理由とする差別をなくそう」を含む、17の課題を掲げ、学校、地域社会、職場など様々な場面を通じて、各種の啓発活動に取り組んでいます。また、このような活動を通じて、人権侵害の疑いのある事案を認知した場合には、被害者の救済のため、速やかな対応をすることとしています。

本日の人権シンポジウムのテーマは、「性の多様性を考える～性的指向と性同一性障害～」です。性的指向、性同一性障害を理由とする偏見や差別をなくし、理解を深めていただきたい、との思いから、このテーマを選定いたしました。

本日のパネリストは、この問題に造詣の深い方々をお願いしております。また、「Re-born ～生まれ変わる」と題して、テレビなどでも活躍されているモデルでタレントの佐藤かよさんのトークショーを予定しており、御自身の体験談や将来について語っていただくこととしております。どうか最後まで御参加いただき、「性」という誰にとっても身近で大切なテーマについて改めて考えていただければと思います。

なお、本日のシンポジウムの模様は、後日、インターネット上のYouTubeの「人権チャンネル」などに掲載することを予定しています。本日この会場にお集まりいただいた皆様だけでなく、更に多くの皆様に、本シンポジウムの内容を共有していただきたいと思っております。

最後になりますが、本日のシンポジウム開催につきまして、各方面から賜りました多大の御支援、御協力に対し、心から感謝申し上げ、私の挨拶といたします。